

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立佃西小	学校
---------	----

児童数	104
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.84	18.59	30.10	40.83	38.41	9.04	160.05	19.77	52.78
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.72	17.67	35.41	36.87	29.44	9.68	146.80	10.29	52.10
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

昨年度に続き、「握力」は男女とも全国・大阪市平均を上回った。それに加え、「反復横とび」「50m走」「立ち幅とび」も上回った。体力合計点については、男子は全国・大阪市平均を上回り、女子は全国・大阪市平均を下回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問項目について肯定的に回答した児童は、男子は全国・大阪市と比べてほとんど変わらず、女子は10ポイント近く高かった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全市より約7ポイント、女子は約2ポイント高かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

外遊びの推進、体育週間の設定、放課後の運動場開放等、体力の向上をめざして取り組んできた。その結果、多くの項目において全国・大阪市平均を上回った。

これは、昨年度末に講堂等の建築工事が終わり、これまでよりも運動する機会が増えたり、あまり制限なく動くことができるようになったことが影響していると考えられる。

「20mシャトルラン」の記録がここ数年低く、持久力が直近の課題だと考えられる。今年度は「なわとび月間」「かけ足月間」などを設定し、持久力の向上に努めた。運動をするのが好きな児童が多いため、体を動かすことの魅力をさらに感じることができるよう、体育科の授業力向上にも取り組む必要がある。